



# ライセンスとサブスクリプションを使用する Licenses and subscriptions

NetApp  
November 18, 2025

# 目次

ライセンスとサブスクリプションを使用する	1
ダッシュボードの概要を使用する	1
ダッシュボードの概要を使用する	1
ライセンスを管理します。	2
NetAppデータサービスのライセンスを管理する	2
Cloud Volumes ONTAPのライセンスを管理する	5
プライベートオファーを管理する	14
NetApp Consoleの AWS Marketplace プライベートオファーを承認して設定する	14
NetApp Consoleの Azure プライベート オファーを承認してアクティブ化する	16
NetApp Consoleの Google Cloud プライベート オファーを承認して構成する	18
PAYGOサブスクリプションと契約を管理する	20
新しいマーケットプレイスサブスクリプションを追加する	21
サブスクリプションを表示する	21
サブスクリプションの名前を変更する	22
プロバイダー資格情報を使用してサブスクリプションを構成する	22
サブスクリプションをコンソール組織に関連付ける	23
サブスクリプションに関連付けられた資格情報を表示する	23
Keystoneサブスクリプションを管理する	24
アカウントを承認する	25
サブスクリプションをリンクする	25
コミットされた容量の増減を要求する	25
使用状況を監視する	26
サブスクリプションのリンクを解除する	26
請求設定	26
ライセンスとサブスクリプションの課金設定について	26
請求設定を管理する	29
知識とサポート	31
サポートに登録する	31
ヘルプを受ける	35
法律上の表示	39
著作権	39
商標	39
特許	39
プライバシー ポリシー	39
オープンソース	39

# ライセンスとサブスクリプションを使用する

## ダッシュボードの概要を使用する

### ダッシュボードの概要を使用する

コンソールの\*概要\*ダッシュボードを使用して、ライセンスとサブスクリプションの健全性を監視し、サブスクリプションの有効期限や容量制限に達したときにコストを管理してサービスを維持できるようにします。

各データ サービス ( Cloud Volumes ONTAPを含む ) に関する特定のライセンスとサブスクリプションの情報を表示し、それぞれの詳細にドリルダウンできます。

また、容量制限や有効期限が近づいていることも通知され、対応が求められます。

### 特定のデータ サービスの詳細を表示する

\*概要\*ダッシュボードでは、次のデータ サービスの詳細を表示できます。

- Cloud Volumes ONTAP
- ディザスタ リカバリ
- ランサムウェア耐性
- バックアップとリカバリ
- クラウド階層化

たとえば、Cloud Volumes ONTAPリソースの管理を担当する管理者は、各ライセンスまたはサブスクリプションの現在の容量を表示できるため、自分の権限内のリソースを重点的に把握できます。



ダッシュボードからライセンスを更新したり削除したりすることはできますが、新しいライセンスやサブスクリプションを追加することはできません。

["ライセンスの管理について詳しくはこちら"](#)。 ["サブスクリプションの管理について詳しくはこちら"](#)。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 > Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*を選択します。
3. 各データ サービス ( Cloud Volumes ONTAPを含む ) の [表示] を選択して、詳細を表示し、ライセンスとサブスクリプションを管理します。

各タイルには、容量の概要がグラフィカルに表示されます。詳細ページを表示して、その容量の支払い方法を確認し、管理することができます。

4. ライセンス または サブスクリプション タブを選択します。
5. 列フィルターとフィルターする値を選択して、テーブルをフィルターします。たとえば、[サブスクリプション] タブでは、[タイプ] 列を年間契約またはサブスクリプションでフィルタリングできます。

6. 表に表示される列をカスタマイズします。\*列\*アイコンを選択して表示または非表示にする列を指定することにより、テーブルに列を追加したり削除したりできます。
7. 任意の行を展開すると、サブスクリプションまたはライセンスに含まれる内容、購入した容量、条件の詳細が表示されます。
8. アクション メニューを使用して、ライセンスの更新やサブスクリプションの別の組織への関連付けなど、特定のライセンスまたはサブスクリプションを管理します。

特定のサービスの\*概要\*ページから新しいライセンスまたはサブスクリプションを追加することはできません。ライセンスまたはサブスクリプションは、それぞれ 直接ライセンス タブまたは マーケットプレイス サブスクリプション タブからのみ追加できます。

"[ライセンスの管理について詳しくはこちらをご覧ください。](#)" "[サブスクリプションの管理について詳しくはこちらをご覧ください。](#)"

## ライセンスまたはサブスクリプションの問題を解決する

解決する必要があるライセンスとサブスクリプションの問題を表示できます。問題には、期限切れまたは容量に達したライセンスとサブスクリプションが含まれます。

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*を選択します。
3. 調整が必要な問題を表示するには、[アクションが必要] タイルで [解決] を選択します。解決 が表示されない場合は、現時点で対処が必要な問題はありません。
4. アクションが必要 ページで、ライセンス タブまたは サブスクリプション タブを選択します。
5. アクション メニューを使用して問題を解決します。

"[ライセンスの管理について詳しくはこちら](#)"。"[サブスクリプションの管理について詳しくはこちら](#)"。

## ライセンスを管理します。

### NetAppデータサービスのライセンスを管理する

Cloud Volumes ONTAPなどのNetAppデータ サービスで使用するためにNetAppから直接購入したライセンス (BYOL) を管理できます。使用済みのライセンス容量、残りの空き容量を確認でき、容量制限または有効期限に達したときに通知が表示されます。



直接ライセンス ページにはすべてのライセンスがリストされます。特定のデータ サービスのライセンスの詳細が必要な場合は、[概要] ダッシュボードのデータ サービス タイルを使用します。"[概要ダッシュボードの詳細](#)"。

このページの説明には、各サービスに適用される情報が記載されています。これらのサービスのライセンスに関する詳細については、次のページを参照してください。

- "[NetApp Backup and Recoveryのライセンスを設定する](#)"
- "[NetApp Disaster Recoveryのライセンスを設定する](#)"

- ["NetApp Ransomware Resilienceのライセンスを設定する"](#)
- ["NetApp Cloud Tieringのライセンスを設定する"](#)
- ["Cloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する"](#)

## ライセンスファイルを取得する

コンソールがインターネットにアクセスできない場合 (プライベート モードのインストール)、アップロードするNetAppライセンス ファイルを取得する必要があります。

NetApp の営業担当者からライセンスを購入すると、シリアル番号とライセンスの詳細が記載された電子メールが届きます。コンソールにライセンスが自動的に表示されない場合は、シリアル番号を使用してライセンスファイルを取得します。

## 手順

1. コンソールアカウントIDを見つけます:
  - a. コンソールの右上で、 > アイデンティティとアクセス管理。
  - b. 「組織」 ページで、アカウント ID を探してコピーします。

アカウントIDがリストされておらず、組織IDのみがある場合は、組織IDの最初の8文字をコピーして\*account-\*に追加します。

たとえば、これが組織 ID である場合:

ea10e1c6-80cc-4219-8e99-3c3e6b161ba5

アカウント ID は次のようになります:

アカウント-ea10e1c6

2. Sign in ["NetAppサポート サイト"](#)\*システム > ソフトウェア ライセンス\*を選択します。
3. ライセンスのシリアル番号を入力します。
4. ライセンス キー 列で、\* NetAppライセンス ファイルの取得\* を選択します。
5. コンソール アカウント ID (サポート サイトではテナント ID と呼ばれます) を入力し、[送信] を選択してライセンス ファイルをダウンロードします。

## ライセンスの追加

ライセンスに関連付けられたNetApp ConsoleアカウントがNetAppサポート サイト アカウントでもあり、インターネットにアクセスできる場合、ライセンス情報は **Licenses and subscriptions** セクションに自動的に表示されます。NSS アカウントに関連付けられていないコンソール アカウントを使用した場合は、ライセンスを手動で追加する必要があります。

シリアル番号と関連付けられた NSS アカウントを入力するか、NetAppライセンス ファイル (NLF) をアップロードすることで、コンソールにライセンスを追加できます。コンソールがインターネットにアクセスできない場合 (プライベート モードのインストール)、アップロードするNetAppライセンス ファイルを取得する必要があります。

NetApp の営業担当者からライセンスを購入すると、NetAppシリアル番号と追加のライセンス詳細が記載さ

れたメールが送信されます。コンソールでそれぞれのライセンスを追加または更新するには、そのシリアル番号が必要になります。



シリアル番号を入力するには、まず ["NetAppサポートサイトのアカウントをコンソールに追加する"](#)。これは、シリアル番号にアクセスする権限を持つNetAppサポート サイトのアカウントです。

#### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、管理 > **Licenses and subscriptions** を選択し、直接ライセンス タブを選択します。
2. \*ライセンスの追加\*を選択します。
3. \*ライセンスの追加\*ダイアログで、ライセンス情報を入力し、\*ライセンスの追加\*を選択します。
  - シリアル番号があり、NSS アカウントがわかっている場合は、「シリアル番号を入力」を選択してその情報を入力します。

シリアル番号を入力した場合は、シリアル番号にアクセスする権限を持つNetAppサポート サイト アカウントも選択する必要があります。

NetAppサポートサイトのアカウントがドロップダウンリストから選択できない場合は、["NSSアカウントをコンソールに追加する"](#)

- ライセンス ファイルがある場合 ( NetApp Consoleをプライベート モードで使用する場合に必要)、[ライセンス ファイルのアップロード] オプションを選択し、プロンプトに従ってファイルを添付します。

#### ライセンスを更新する

ライセンス期間の有効期限が近づいたり、ライセンス容量が制限に近づいたりすると、コンソールから通知が表示されます。NetAppデータ サービスまたはCloud Volumes ONTAP の中断を回避するには、ライセンスの有効期限が切れる前にライセンスを更新してください。

NetAppから追加の容量を購入するか、ライセンス期間を延長すると、両方の条件が満たされたときにコンソールによってライセンスが自動的に更新されます。

- コンソールアカウントはNetAppサポートサイトのアカウントに関連付けられています
- コンソールはインターネットにアクセスできる

コンソール アカウントが NSS アカウントに関連付けられていない場合、またはコンソールがインターネットにアクセスできないプライベート モードで動作している場合は、ライセンスを手動で更新する必要があります。

いずれかの方法を使用してライセンスを手動で更新できます。

- シリアル番号と関連するNSSアカウントを入力してください
- NetAppライセンス ファイル (またはCloud Volumes ONTAP HA ペアのファイル) をアップロードします。

NetApp の営業担当者からライセンスを購入すると、シリアル番号とライセンスの詳細が記載された電子メールが届きます。このシリアル番号を使用してライセンスを更新します。



シリアル番号を入力するには、まず ["NetAppサポートサイトのアカウントをコンソールに追加する"](#)。このNSS アカウントはシリアル番号にアクセスすることを承認される必要があります。

#### 手順

1. 新しいライセンスを購入するには、NetApp の担当者にお問い合わせください。

支払いが完了し、ライセンスがNetAppサポート サイトに登録されると、コンソールによってライセンスが自動的に更新されます。直接ライセンス ページには 5 ~ 10 分以内に変更が反映されます。

2. コンソールがライセンスを自動的に更新できない場合 (たとえば、プライベート モードで動作している場合) は、サポートからNetAppライセンス ファイルを取得し、手動でアップロードします。[ライセンス ファイルを取得する方法について説明します](#)。
3. \*直接ライセンス\*タブで、**...**更新するシリアル番号を選択し、[ライセンスの更新] を選択します。
4. \*ライセンスの更新\*ページで、ライセンス ファイルをアップロードし、\*ライセンスの更新\*を選択します。

#### ライセンスステータスの表示

ライセンスを管理するには、サービス名に基づいてライセンスをグループ化できます。これにより、特定のサービスに関連するすべてのライセンスを確認できます。行を展開すると、サービスに関連する各ライセンスの詳細情報を表示できます。各サービスのルート行には、サービス名とそのサービスの使用容量が表示されます。ライセンスはサービス名ごとに自動的にグループ化されます。各サービスのルート行には、サービス名とそのサービスの使用容量が表示されます。

#### 手順

1. コンソール メニューから、[管理] > [Licenses and subscriptions] を選択し、[直接ライセンス] タブを選択します。
2. サービス名の行をクリックして展開します。これにより、そのサービスに関連するすべてのライセンスが表示されます。展開された各行には、ライセンス ID、シリアル番号、容量、有効期限など、ライセンスに関する詳細情報が表示されます。

## Cloud Volumes ONTAPのライセンスを管理する

### 容量ベースの Cloud Volume ONTAPライセンスを管理する

NetApp Consoleから容量ベースのライセンスを管理して、NetAppアカウントにCloud Volumes ONTAPシステムに十分な容量があることを確認します。

容量ベースのライセンスを使用すると、容量 1 TiB ごとにCloud Volumes ONTAPの料金を支払うことができます。

容量ベースのCloud Volumes ONTAPライセンスは、NetApp Consoleから管理できます。



コンソールで管理される製品とサービスの実際の使用量と計測値は常に GiB と TiB で計算されますが、GB/GiB と TB/TiB という用語は同じ意味で使用されます。これは、クラウドマーケットプレースのリスト、価格見積もり、リストの説明、およびその他のサポートドキュメントに反映されます。

["Cloud Volumes ONTAPライセンスの詳細"](#)。

#### NetApp Consoleにライセンスを追加する方法

NetApp の営業担当者からライセンスを購入すると、NetAppシリアル番号と追加のライセンス詳細が記載されたメールが送信されます。

その間、コンソールは自動的に NetApp のライセンス サービスにクエリを実行し、NetAppサポート サイトアカウントに関連付けられているライセンスの詳細を取得します。エラーがなければ、ライセンスが追加されます。

コンソールでライセンスを追加できない場合は、手動で追加する必要があります。たとえば、コンソールエージェントがインターネットにアクセスできない場所にインストールされている場合は、ライセンスを自分で追加する必要があります。 ["購入したライセンスをアカウントに追加する方法を学びます"](#)。

#### アカウントで消費された容量を表示する

コンソールには、アカウント内の消費済み容量の合計と、ライセンス パッケージ別の消費済み容量が表示されます。これにより、料金がどのように請求されるか、追加の容量を購入する必要があるかどうかを把握できます。

#### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブのCloud Volumes ONTAPタイルには、アカウントにプロビジョニングされている現在の容量が表示されます。

[width=300 Cloud Volumes ONTAPライセンスとサブスクリプションの容量の概要を表示するスクリーンショット。]

- 直接ライセンス は、NetAppアカウント内のすべてのCloud Volumes ONTAPシステムのプロビジョニングされた合計容量です。課金は、ボリューム内のローカル、使用済み、保存済み、または有効なスペースに関係なく、各ボリュームのプロビジョニングされたサイズに基づいて行われます。
  - 年間契約 は、NetAppから購入したライセンス容量 (ライセンス持ち込み (BYOL) またはマーケットプレイス契約) の合計です。
  - PAYGO は、クラウド マーケットプレイスのサブスクリプションを使用してプロビジョニングされた合計容量です。PAYGO による課金は、消費容量がライセンス容量よりも大きい場合、またはコンソールで利用できる BYOL ライセンスがない場合にのみ使用されます。
3. 各ライセンス パッケージの消費容量を確認するには、[表示] を選択します。
  4. 購入した各パッケージ ライセンスの詳細を表示するには、[ライセンス] タブを選択します。

Essentials パッケージに表示される容量をよりよく理解するには、充電の仕組みを理解しておく必要があります。 ["Essentials パッケージの料金について"](#)。

5. ライセンス消費モデル別に消費された容量を確認するには、「サブスクリプション」タブを選択します。このタブには、PAYGO ライセンスと年間契約ライセンスの両方が含まれます。

現在表示している組織に関連付けられているサブスクリプションのみが表示されます。

6. サブスクリプションに関する情報を表示しながら、テーブル内の詳細を操作できます。詳細を表示するには行を展開します。

- 。選択  テーブルに表示する列を選択します。期間と自動更新の列はデフォルトでは表示されないことに注意してください。「自動更新」列には、Azure 契約の更新情報のみが表示されます。

パッケージの詳細を表示する

Cloud Volumes ONTAPページでレガシー モードに切り替えると、パッケージごとに使用されている容量の詳細を表示できます。

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブのCloud Volumes ONTAPタイルには、アカウントにプロビジョニングされている現在の容量が表示されます。
3. 各ライセンス パッケージのプロビジョニングされた容量を確認するには、[表示] を選択します。
4. \*詳細表示に切り替える\*を選択します。

[詳細表示に切り替えるボタンのスクリーンショット]

5. 確認したいパッケージの詳細を表示します。

[標準ビューへの切り替えボタンのスクリーンショット]

充電方法を変更する

容量ベースのライセンスは、\_パッケージ\_ の形式で利用できます。Cloud Volumes ONTAPシステムを作成するときは、ビジネス ニーズに応じて複数のライセンス パッケージから選択できます。システムを作成した後にニーズが変化した場合は、いつでもパッケージを変更できます。たとえば、Essentials パッケージから Professional パッケージに変更する場合があります。

["容量ベースのライセンスパッケージの詳細"](#)。

タスク概要

- 課金方法を変更しても、NetAppから購入したライセンス (BYOL) を通じて課金されるか、クラウド プロバイダーのマーケットプレイスの従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションを通じて課金されるかには影響しません。

コンソールは常に最初にライセンスに対して課金を試みます。ライセンスが利用できない場合は、マーケットプレイスのサブスクリプションに対して料金が請求されます。BYOL サブスクリプションをマーケットプレイス サブスクリプションに変換したり、その逆を行ったりする必要はありません。

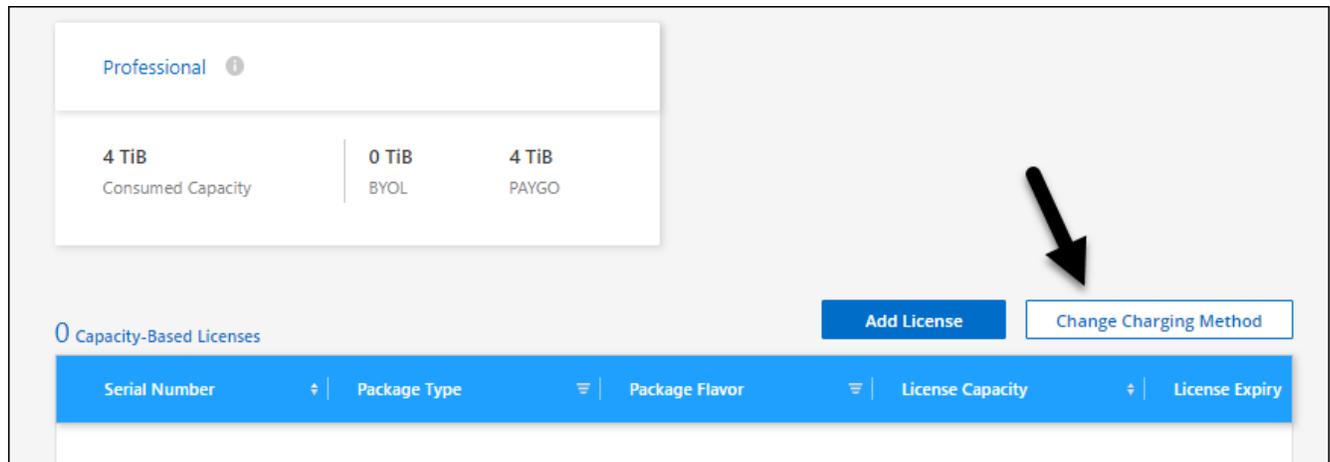
- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスからプライベート オファーまたは契約を結んでいる場合、契約に含まれていない課金方法に変更すると、BYOL ( NetAppからライセンスを購入した場合) または PAYGO に対して課金されることとなります。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. \*詳細表示に切り替える\*を選択します。

[レガシービューに切り替えるボタンのスクリーンショット]

5. \*容量ベースのライセンス\*テーブルまで下にスクロールし、\*課金方法の変更\*を選択します。



6. \*課金方法の変更\*ポップアップで、Cloud Volumes ONTAPシステムを選択し、新しい課金方法を選択して、パッケージタイプを変更するとサービス料金に影響することを理解していることを確認します。

7. \*充電方法の変更\*を選択します。

使用状況レポートをダウンロードする

コンソールから4つの使用状況レポートをダウンロードできます。これらの使用状況レポートには、サブスクリプションの容量の詳細が提供され、Cloud Volumes ONTAPサブスクリプション内のリソースに対してどのように課金されるかが示されます。ダウンロード可能なレポートでは、ある時点でのデータが取得され、他のユーザーと簡単に共有できます。

[スクリーンショットは、Cloud Volumes ONTAPの容量ベースのライセンスページを示し、使用状況レポートボタンが強調表示されています。]

以下のレポートをダウンロードできます。表示される容量値はTiB単位です。

- 高レベルの使用状況: このレポートには次の情報が含まれます。
  - 総消費容量
  - 事前コミット済み容量合計
  - 総BYOL容量
  - マーケットプレイス契約総容量
  - 総PAYGO容量
- \* Cloud Volumes ONTAPパッケージの使用状況\*: このレポートには、各パッケージに関する次の情報が含まれます。
  - 総消費容量
  - 事前コミット済み容量合計
  - 総BYOL容量
  - マーケットプレイス契約総容量
  - 総PAYGO容量
- ストレージ VM の使用状況: このレポートには、課金された容量がCloud Volumes ONTAPシステムとスト

レーズ仮想マシン (SVM) 全体でどのように内訳されているかが表示されます。この情報はレポートでのみ利用可能です。次の情報が含まれています。

- システムIDと名前 (UUIDとして表示されます)
  - クラウド
  - NetAppアカウントID
  - システム設定
  - SVM名
  - プロビジョニング済み容量
  - 充電容量のまとめ
  - マーケットプレースの請求期間
  - Cloud Volumes ONTAPパッケージまたは機能
  - 課金SaaSマーケットプレースのサブスクリプション名
  - 課金SaaSマーケットプレースサブスクリプションID
  - ワークロードの種類
- ボリュームの使用状況: このレポートには、Cloud Volumes ONTAPシステム内のボリュームごとに課金容量がどのように内訳されているかが表示されます。この情報はコンソールのどの画面でも表示されません。以下の情報が含まれます。
- システムIDと名前 (UUIDとして表示されます)
  - SVN name
  - ボリューム ID
  - ボリューム タイプ
  - ボリュームプロビジョニング容量



FlexCloneボリュームは料金が発生しないため、このレポートには含まれません。

#### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 > Licenses and subscriptions\* を選択します。
2. \*概要\* タブで、Cloud Volumes ONTAP タイルから \*表示\* を選択します。
3. \*使用状況レポート\* を選択します。

使用状況レポートがダウンロードされます。

4. レポートにアクセスするには、ダウンロードしたファイルを開きます。

#### ノードベースのライセンスを管理する

NetApp Consoleでノードベースのライセンスを管理して、各Cloud Volumes ONTAPシステムに必要な容量を持つ有効なライセンスがあることを確認します。

ノードベースのライセンスは、以前の世代のライセンスモデルです (新規顧客には利用できません)。

- NetAppから購入したライセンスを持参 (BYOL)
- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスから時間単位の従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションを購入する

NetApp ConsoleからノードベースのCloud Volumes ONTAPライセンスを管理できます。

["Cloud Volumes ONTAPライセンスの詳細"](#)。

#### PAYGOライセンスの管理

「Licenses and subscriptions」メニューでは、シリアル番号や PAYGO ライセンスの種類など、各 PAYGO Cloud Volumes ONTAPシステムの詳細を表示できます。

#### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 > Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. ドロップダウンから\*ノードベースのライセンス\*を選択します。
5. [PAYGO]をクリックします。
6. 各 PAYGO ライセンスの詳細を表で表示します。

[Licenses and subscriptionsページに 3 つの PayGo ライセンスを含むテーブルが表示されているスクリーンショット。各行には、名前、システムの種類、シリアル番号、パッケージ、ライセンスを管理するためのリンクが表示されます。]

7. 必要に応じて、「**PAYGO** ライセンスの管理」をクリックして、PAYGO ライセンスを変更するか、インスタンス タイプを変更します。

#### BYOLライセンスの管理

システム ライセンスと追加容量ライセンスを追加および削除することで、NetAppから直接購入したライセンスを管理します。



はBYOLライセンスの購入、延長、および更新を制限しています。 ["Cloud Volumes ONTAPのBYOL ライセンスの利用制限"](#)。

#### 割り当てられていないライセンスを追加する

新しいCloud Volumes ONTAPシステムを作成するときにライセンスを選択できるように、ノードベースのライセンスをコンソールに追加します。コンソールはこれらのライセンスを「未割り当て」として識別します。

#### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 > Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. ドロップダウンから\*ノードベースのライセンス\*を選択します。

5. \*未割り当て\*をクリックします。
6. \*未割り当てのライセンスの追加\*をクリックします。
7. ライセンスのシリアル番号を入力するか、ライセンス ファイルをアップロードします。

ライセンス ファイルをまだお持ちでない場合は、以下のセクションを参照してください。

8. \*ライセンスの追加\*をクリックします。

## 結果

コンソールがライセンスを追加します。ライセンスは、新しいCloud Volumes ONTAPシステムに関連付けるまで、未割り当てとして識別されます。その後、ライセンスは **Licenses and subscriptions** の \*BYOL\* タブに移動します。

## Exchangeの未割り当てノードベースライセンス

使用していないCloud Volumes ONTAPの未割り当てのノードベース ライセンスがある場合は、そのライセンスをNetApp Backup and Recoveryライセンス、 NetApp Data Classificationライセンス、またはNetApp Cloud Tieringライセンスに変換して交換できます。

ライセンスを交換すると、 Cloud Volumes ONTAPライセンスが取り消され、サービスに対してドル相当のライセンスが作成されます。

- Cloud Volumes ONTAP HAペアのライセンスは51 TiBの直接ライセンスに変換されます
- Cloud Volumes ONTAPシングルノードのライセンスは 32 TiB の直接ライセンスに変換されます

変換されたライセンスの有効期限は、 Cloud Volumes ONTAPライセンスと同じになります。

["ノードベースのライセンスを交換する方法のチュートリアルを表示します。"](#)

## 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 > Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. ドロップダウンから\*ノードベースのライセンス\*を選択します。
5. \*未割り当て\*をクリックします。
6. \*ライセンスの交換\*をクリックします。

[未割り当てライセンス ページに表示される Exchange ライセンス オプションのスクリーンショット。]

7. ライセンスを交換するサービスを選択します。
8. プロンプトが表示されたら、HA ペアの追加ライセンスを選択します。
9. 法的同意書を読み、「同意する」をクリックします。

## 結果

コンソールは、割り当てられていないライセンスを選択したサービスに変換します。新しいライセンスは、[データ サービス ライセンス] タブで確認できます。

## システムライセンスファイルを取得する

ほとんどの場合、コンソールはNetAppサポート サイトのアカウントを使用してライセンス ファイルを自動的に取得できます。ただし、それができない場合は、ライセンス ファイルを手動でアップロードする必要があります。ライセンス ファイルがない場合は、netapp.com から取得できます。

### 手順

1. に行く "[NetApp License File Generator](#)"NetAppサポート サイトの認証情報を使用してログインします。
2. パスワードを入力し、製品を選択し、シリアル番号を入力し、プライバシー ポリシーを読んで同意したことを確認してから、[送信] をクリックします。

### 例

[スクリーン ショット: 利用可能な製品ラインを含むNetApp License Generator Web ページの例を示します。]

3. serialnumber.NLF JSON ファイルを電子メールで受け取るか、直接ダウンロードするかを選択します。

## システムライセンスを更新する

NetApp の担当者に連絡して BYOL サブスクリプションを更新すると、コンソールはNetAppから新しいライセンスを自動的に取得し、Cloud Volumes ONTAPシステムにインストールします。コンソールが安全なインターネット接続を介してライセンス ファイルにアクセスできない場合は、自分でファイルを取得し、手動でファイルをアップロードすることができます。

### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. ドロップダウンから\*ノードベースのライセンス\*を選択します。
5. **BYOL** タブで、Cloud Volumes ONTAPシステムの詳細を展開します。
6. システム ライセンスの横にあるアクション メニューをクリックし、\*ライセンスの更新\*を選択します。
7. ライセンス ファイル (HA ペアがある場合は複数のファイル) をアップロードします。
8. \*ライセンスの更新\*をクリックします。

### 結果

コンソールは、Cloud Volumes ONTAPシステムのライセンスを更新します。

## 追加容量ライセンスの管理

Cloud Volumes ONTAP BYOL システムの追加容量ライセンスを購入して、BYOL システム ライセンスで提供される 368 TiB を超える容量を割り当てることができます。たとえば、最大 736 TiB の容量をCloud Volumes ONTAPに割り当てるために、追加のライセンス容量を 1 つ購入することができます。または、最大 1.4 PiB を得るために、追加容量ライセンスを 3 つ購入することもできます。

単一ノードシステムまたはHAペアに対して購入できるライセンスの数に制限はありません。

## 容量ライセンスを追加する

コンソールの右下にあるチャット アイコンからお問い合わせいただき、追加容量ライセンスを購入してください。ライセンスを購入したら、それをCloud Volumes ONTAPシステムに適用できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. ドロップダウンから\*ノードベースのライセンス\*を選択します。
5. **BYOL** タブで、 Cloud Volumes ONTAPシステムの詳細を展開します。
6. \*容量ライセンスの追加\*をクリックします。
7. シリアル番号を入力するか、ライセンス ファイル (HA ペアがある場合は複数のファイル) をアップロードします。
8. \*容量ライセンスの追加\*をクリックします。

## 容量ライセンスの更新

追加容量ライセンスの期間を延長した場合は、コンソールでライセンスを更新する必要があります。

### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. ドロップダウンから\*ノードベースのライセンス\*を選択します。
5. **BYOL** タブで、 Cloud Volumes ONTAPシステムの詳細を展開します。
6. 容量ライセンスの横にあるアクション メニューをクリックし、[ライセンスの更新] を選択します。
7. ライセンス ファイル (HA ペアがある場合は複数のファイル) をアップロードします。
8. \*ライセンスの更新\*をクリックします。

## 容量ライセンスを削除する

追加容量ライセンスの有効期限が切れて使用されなくなった場合は、いつでも削除できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*概要\*タブを選択します。
3. Cloud Volumes ONTAPタイルで、[表示] を選択します。
4. ドロップダウンから\*ノードベースのライセンス\*を選択します。
5. **BYOL** タブで、 Cloud Volumes ONTAPシステムの詳細を展開します。
6. 容量ライセンスの横にあるアクション メニューをクリックし、[ライセンスの削除] を選択します。

7. \*削除\*をクリックします。

## PAYGOとBYOL間の変更

システムを PAYGO ノード単位ライセンスから BYOL ノード単位ライセンス (およびその逆) に変換することはサポートされていません。従量課金制サブスクリプションと BYOL サブスクリプションを切り替える場合は、新しいシステムをデプロイし、既存のシステムから新しいシステムにデータを複製する必要があります。

### 手順

1. 新しいCloud Volumes ONTAPシステムを作成します。
2. 複製する必要があるボリュームごとに、システム間で 1 回限りのデータ レプリケーションを設定します。

["システム間でデータを複製する方法を学ぶ"](#)

3. 元のシステムを削除して、不要になったCloud Volumes ONTAPシステムを終了します。

["Cloud Volumes ONTAPシステムを削除する方法を学ぶ"](#)。

### 関連リンク

リンク: ["ノードベースライセンスの提供終了"](#) ["ノードベースのライセンスを容量ベースのライセンスに変換する"](#)

## プライベートオファアを管理する

### NetApp Consoleの AWS Marketplace プライベートオファアを承認して設定する

AWS コンソールでNetApp Consoleの Marketplace プライベートオファアを受け入れ、コンソールで AWS 認証情報を設定します。

#### 開始する前に

- NetApp の営業担当者と協力してプライベート オファアを作成し、アクティベーション リンクを取得します。
- 必要な AWS Marketplace 権限があることを確認します。
  - ["プライベートオファアの表示と購読"](#)
  - ["購入者の権限の検証"](#)

#### AWSコンソールでプライベートオファアを承認する

購入を有効にして割引価格を適用するには、コンソールでサブスクリプションの割り当てを完了する必要があります。



プライベートオファアを有効にするには、すべての手順を完了する必要があります。手順を省略すると請求エラーが発生する可能性があります。オファアを複数回承諾して有効化すると、二重に請求されます。

### 手順

1. NetAppセールス チームからのプライベート オファーのアクティベーション リンクをクリックします。リンクは次のようになります。

<https://aws.amazon.com/marketplace/saas/ordering?productId=aaa&offerId=offer-aaa>

If you did not receive the link, view private offers in the AWS Marketplace console. The following permissions are required:

- AWS 管理ポリシーを使用する: **AWSMarketplaceRead-only**、**AWSMarketplaceManageSubscriptions**、または **AWSMarketplaceFullAccess**
- カスタム IAM ポリシーの使用: `aws-marketplace:ListPrivateListings`、そして `aws-marketplace:ViewSubscriptions`

2. プライベートオファーを表示するために AWS Marketplace にリダイレクトされます。



プライベートオファーは公開リストの上に作成されます。\*オファーの選択\*ドロップダウンを使用して、公開オファーと非公開オファーを切り替えます。

3. プライベートオファーの詳細を確認し、契約内容と一致していることを確認します。間違っている場合は受け入れないでください。NetAppアカウント チームにお問い合わせください。

プライベートオファーには次の 2 つの種類があります。



- オンデマンド利用
  - 価格情報
  - 法的用語
- 契約
  - 期間と日付
  - 更新設定
  - 契約オプション
  - 契約合計金額

契約オファーの場合は、合意したユニット数を入力します。Cloud Volumes ONTAPの場合は、サブスクライブする前に正しいライセンスを選択してください。

4. プライベートオファーを承諾するには、次の手順を実行します。
  - a. オンデマンドで使用する場合は、「サブスクライブ」をクリックします。
  - b. 契約オファーの場合は、各サービスのユニット数を入力し、「契約を作成」をクリックします。
5. 承認されると、バナーでサブスクリプションが確認され、登録手順が示されます。
6. \*アカウントを設定\*をクリックします。これにより、サブスクリプションを構成するためにNetApp Consoleにリダイレクトされます。



オファーを承諾したが登録を完了していない場合は、製品ページに戻ります。契約リストの場合は、「購入オプションを表示」をクリックしてオファーを表示し、「アカウントを設定」を選択します。

7. Sign in <https://console.netapp.com> コンソールアカウントを使用します。
8. ログイン後、<https://console.netapp.com/licenses/overview>。次のプロンプトが表示されます:
  - a. マーケットプレイス サブスクリプションの 表示名 を入力します。
  - b. サブスクリプションにアクセスできるコンソール アカウント を選択します。
  - c. [オプション] 既存のサブスクリプションの置き換え を有効にして、1つのアカウントの既存のサブスクリプションを上書きします。



- 交換は1つのコンソール アカウントにのみ適用されます。
- 複数のアカウントを同じサブスクリプションに関連付けるには、追加のアカウントを手動で構成します。
- 資格情報がサブスクリプションに関連付けられていない場合は、次のセクションの説明に従って手動で関連付けます。

9. 関連付けをクリックします。
10. フォームに入力して、サブスクリプションをコンソール組織に関連付けます。次に、[関連付け] をクリックします。
11. サブスクリプションを関連付けた後、[課金設定] タブに移動して選択します。
12. マーケットプレイスのサブスクリプション オプションを確認します。
13. 請求するマーケットプレイスのサブスクリプションを選択します。これは、オプションが複数ある場合にのみ適用されます。
14. 変更を保存を選択します。
15. 複数のハイパースケイラーに複数のサブスクリプションがある場合は、必要に応じてこれらの手順を繰り返します。

マーケットプレイスサブスクリプションと直接ライセンスの請求の詳細については、"[請求設定に関するドキュメント](#)"。

## NetApp Consoleの Azure プライベート オファーを承認してアクティブ化する

Azure ポータルで、NetApp Consoleの Marketplace プライベート オファーを承諾してサブスクライブします。コンソールで Azure 資格情報を構成します。

開始する前に

- NetApp の営業担当者と協力して、Azure 請求 ID のプライベート オファーを作成します。
- Azure Marketplace でプライベート オファーを受け入れるために必要なアクセス許可があります。
  - エンタープライズ契約 (EA): エンタープライズ管理者
  - Microsoft 顧客契約 (MCA): 請求先アカウント所有者 または 請求先アカウント共同作成者
- Azure Marketplace でプライベート オファーを購入し、サブスクリプションを作成するには、必要なアク

セス許可が必要です。

- 使用されている Azure サブスクリプションの サブスクリプション所有者 または サブスクリプション共同作成者
- 必要な権限を持っている場合、個人がプライベートオファーを承諾して購入することもできます。

### Azure ポータルでプライベート オファーを承認してサブスクライブする

Azure サブスクリプションは、1 つの Marketplace サブスクリプションにのみ関連付けることができます。同じ Azure サブスクリプション内のワークロードに 2 つの異なる Marketplace サブスクリプションを使用する場合は、サブスクリプションごとに 1 つずつ、2 つの個別のコンソール アカウントを作成する必要があります。複数の Cloud Volumes ONTAP インスタンスがあり、異なるサブスクリプション間で課金を分割する場合は、サブスクリプションごとに個別のコンソール アカウントを作成します。

プライベートオファーを承諾して有効にするには、すべての手順を完了する必要があります。手順を省略すると、アクティベーションの問題が発生したり、二重充電が発生したりする可能性があります。



オファーの条件、価格、詳細に矛盾が見られる場合、またはどのオファーを受け入れるべきかわからない場合は、オファーを受け入れないでください。NetAppの営業チームにお問い合わせください。

オファーを複数回承諾して有効化すると、二重に請求されます。

### 手順

1. NetAppの営業チームから提供されたプライベート オファー リンクをクリックしてサインインします。リンクが利用できない場合は、Azure ポータルに直接サインインします。
2. Azure サービスから **Marketplace** を検索または選択します。
3. マーケットプレイス ページで、管理 セクションの プライベート オファー管理 をクリックします。
4. プライベートオファーの詳細を確認するには、[表示 + 承認]\* をクリックします。
  - a. プランの詳細、期間、\*価格\*が正しいことを確認します。
  - b. 詳細が正しくない場合は、登録しないでください。オファーを修正するには、NetAppの営業チームにお問い合わせください。
5. 確認して、「プライベートオファーを承諾」をクリックします。
6. \*購入\*をクリックして購入プロセスを完了します。



\*購入\*ボタンが利用できない場合は、必要な購入権限があることを確認してください。そうでない場合は、購入ウィンドウのリンクをコピーして、組織内の承認されたユーザーと共有してください。

7. 購入ワークフローでは、次のようになります。
  - a. 使用する\*Azure サブスクリプション\*を選択します。
  - b. サブスクリプションが作成される\*リソース グループ\*を選択します。
  - c. 新しいサブスクリプションの\*名前\*を入力します。
8. 必要に応じて、タグ (製品、サイトの場所、ワークロード定義、または命名規則) を設定します。

9. \*確認して登録\*をクリックし、詳細を確認してから\*登録\*をクリックします。
10. サブスクリプションが正常に作成されたら、「今すぐアカウントを構成」をクリックします。これにより、NetApp Consoleにリダイレクトされ、構成が完了します。



Azure 側の自動化は完了するまでに 30 秒から 5 分かかる場合があります。今すぐアカウントを構成する をクリックする前にページが閉じられていた場合は、Azure ポータルからサービスに戻ります。サブスクリプションは「保留中の構成」として表示されます。選択して設定を続行します。

11. リダイレクトされます <https://console.netapp.com> サインインを求められます。
12. ログイン後、次のページにリダイレクトされます。 <https://console.netapp.com/licenses/overview> 。次のプロンプトが表示されます:
  - a. マーケットプレイス サブスクリプションの 表示名 を入力します。
  - b. このサブスクリプションにアクセスできるコンソール アカウント を選択します。
  - c. オプションで、既存のサブスクリプションの置き換え を有効にして、1 つのコンソール アカウント内の既存のマーケットプレイス サブスクリプションを自動的に置き換えることができます。



- この置換オプションは、単一のコンソール アカウントに制限されます。
- 複数のコンソール アカウントを同じマーケットプレイス サブスクリプションに関連付けるには、追加のアカウントを手動で構成します。

13. 関連付けをクリックします。
14. フォームに入力して、サブスクリプションをコンソール組織に関連付けます。次に、[関連付け] をクリックします。
15. サブスクリプションを関連付けた後、[課金設定] タブに移動して選択します。
16. マーケットプレイスのサブスクリプション オプションを確認します。
17. 請求するマーケットプレイスのサブスクリプションを選択します。これは、オプションが複数ある場合にのみ適用されます。
18. 変更を保存を選択します。
19. 複数のハイパースケーラーに複数のサブスクリプションがある場合は、必要に応じてこれらの手順を繰り返します。

マーケットプレイスサブスクリプションと直接ライセンスの請求の詳細については、"[請求設定に関するドキュメント](#)"。

## NetApp Consoleの Google Cloud プライベート オファーを承認して構成する

Google Cloud コンソールのNetApp Consoleリストに対する Marketplace のプライベート オファーを承認します。コンソールで Google Cloud 認証情報を設定します。

開始する前に

- NetApp の営業担当者と協力してプライベート オファーを作成します。営業チームがオファー リンクを提供する必要があります。

- 請求先アカウントは無料トライアル中であってはなりません。無料トライアルアカウントではプライベートオファーを受け入れることはできません。試用版の請求アカウントを使用しようとする、エラーが発生し、NetAppクラウド チームからのサポートが必要になります。
- オファーを承諾するには、次の Google Cloud 権限が必要です。
  - `roles/billing.admin` 対象となる Cloud Billing アカウントまたは Google Cloud 組織向け
  - `roles/viewer` Cloud Billing アカウントに請求されるプロジェクトの

## Google Cloud でプライベート オファーを承諾する

Google Cloud プロジェクトは、1つの Marketplace サブスクリプションにのみ関連付けることができます。同じ Google Cloud プロジェクト内のワークロードに2つの異なるサブスクリプションを使用する場合は、サブスクリプションごとに1つずつ、2つの個別のコンソール アカウントを作成する必要があります。

プライベートオファーを有効にするには、すべての手順を完了する必要があります。手順を省略すると、二重請求などの問題が発生する可能性があります。



オファーの条件、価格、詳細に矛盾が見られる場合、またはどのオファーを受け入れるべきかわからない場合は、オファーを受け入れないでください。詳細については、NetAppアカウント チームにお問い合わせください。



すでにアクティブな PAYGO サブスクリプションまたは修正されたプライベート オファーがある場合は、承認手順を実行するだけで済みます。このような場合、マーケットプレイスは同じリスト内のプランを更新し、同じサブスクリプション ID を保持するため、コンソールのサブスクリプションの関連付けはそのまま維持されます。

### 手順

1. NetApp の営業チームから提供されたプライベート オファーのアクティベーション リンクをクリックします。リンクは次のようになります。  
<https://console.cloud.google.com/marketplace/private-offers/aaaaaaaa-bbbb-cccc-dddd-eeeeeeeeee>
2. Google Cloud Marketplace にリダイレクトされ、オファーの詳細を確認できます。
  - a. 請求先アカウント
  - b. 製品: NetApp Console
  - c. オファーの詳細
  - d. 価格



プランの詳細、期間、価格を慎重に確認してください。何か誤りがある場合は、オファーを受け入れないでください。修正については、NetAppアカウント チームにお問い合わせください。

3. 情報が正確であることを確認し、利用規約に同意して、[同意する] をクリックします。
4. サブスクリプションの作成中は、読み込みアイコンが表示されます。
5. サブスクリプションが正常に作成されると、ポップアップ ウィンドウが表示されます: 注文リクエストが **NetApp, Inc.** に送信されました。
6. **NETAPP, Inc.** に登録 をクリックします。サブスクリプションの設定を完了するために、NetApp Console

にリダイレクトされます。プライベートオファーが組織内の別のユーザーによって承認された場合:

- a. Google Cloud Marketplace で、[注文] に移動します。
  - b. ステータスが 保留中 のオファーを見つけます。
  - c. 3つのドットのメニューをクリックし、**NetApp, Inc.** に登録 を選択します。
7. リダイレクトされます `https://console.netapp.com` サインインを求められます。
8. ログイン後、次のページにリダイレクトされます。 <https://console.netapp.com/licenses/overview>。次の操作を行う必要があるポップアップが表示されます。
- a. **SaaS** マーケットプレイス サブスクリプション の表示名を入力します。
  - b. サブスクリプションへのアクセス権を持つコンソール アカウント を選択します。
  - c. オプションで、1つのコンソール アカウント内の既存の Marketplace サブスクリプションを自動的に置き換える場合は、既存のサブスクリプションを置き換える を有効にできます。



- この置換オプションは、単一のコンソール アカウントに制限されます。
- 複数のコンソール アカウントを同じ Marketplace サブスクリプションに関連付ける必要がある場合は、追加のアカウントを手動で構成する必要があります。

9. 関連付けをクリックします。
10. フォームに入力して、サブスクリプションをコンソール組織に関連付けます。次に、[関連付け] をクリックします。
11. サブスクリプションを関連付けた後、[課金設定] タブに移動して選択します。
12. マーケットプレイスのサブスクリプション オプションを確認します。
13. 請求するマーケットプレイスのサブスクリプションを選択します。これは、オプションが複数ある場合にのみ適用されます。
14. 変更を保存を選択します。
15. 複数のハイパースケイラーに複数のサブスクリプションがある場合は、必要に応じてこれらの手順を繰り返します。

マーケットプレイスサブスクリプションと直接ライセンスの請求の詳細については、"[請求設定に関するドキュメント](#)"。

## PAYGOサブスクリプションと契約を管理する

クラウド プロバイダーのマーケットプレイスからNetAppデータ サービス ( Cloud Volumes ONTAPを含む) をサブスクライブすると、コンソールの Web サイトにリダイレクトされ、そこでサブスクリプションを保存してコンソール組織に関連付けます。サブスクライブすると、各サブスクリプションをコンソールで管理できるようになります。

- "[NetAppデータ サービス \(標準モード\) をサブスクライブする方法を学びます](#)"
- "[NetAppデータ サービス \(制限モード\) をサブスクライブする方法を学びます](#)"



マーケットプレイス サブスクリプション ページにはすべてのライセンスがリストされます。特定のデータ サービスのライセンスの詳細については、概要 ダッシュボードのデータ サービス タイルを使用します。["概要ダッシュボードの詳細"](#)。

## 新しいマーケットプレイスサブスクリプションを追加する

コンソールから直接マーケットプレイス サブスクリプションをサブスクライブできます。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。
3. サブスクリプション テーブルの上にある サブスクリプションの追加 を選択します。
4. 「サブスクリプションの追加」ダイアログで、クラウド プロバイダーを選択します。
  - a. AWS サブスクリプションを選択する場合は、年間契約か PAYGO サブスクリプションかを選択します。
5. \*サブスクリプションの追加\*を選択してプロバイダーのマーケットプレイスに移動し、提供されている手順を完了します。
6. クラウド プロバイダー マーケットプレイスでの作業が完了したら、コンソールに戻ってプロセスを完了します。

## サブスクリプションを表示する

コンソール組織またはアカウントに関連付けられている各 PAYGO サブスクリプションと年間契約の詳細を表示できます。

Google Cloud では、プライベート オファーに関連付けられたマーケットプレイスのサブスクリプションを識別することもできます。これにより、オファーを正常に受け入れたことを確認できます。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。

現在表示している組織に関連付けられているサブスクリプションのみが表示されます。

3. サブスクリプション情報を表示するときに、次のようにテーブルの詳細を操作できます。
  - 高度な検索とフィルタリングを使用して、テーブルに表示されるサブスクリプションを決定します。特定のサブスクリプション名で検索したり、タイプや構成などのさまざまなサブスクリプション パラメータでフィルターしたりできます。
  - 詳細を表示するには行を展開します。
  - 選択  テーブルに表示する列を選択します。

期間と自動更新の列はデフォルトでは表示されません。「自動更新」列には、Azure 契約の更新情報のみが表示されます。

テーブル情報については、次の点に注意してください。

## 開始日

開始日は、サブスクリプションがアカウントに正常に関連付けられ、課金が開始された日です。

## 該当なし

表に N/A と表示されている場合、その情報は現在クラウド プロバイダーの API から入手できません。

## 期間

Google Cloud サブスクリプションが、作成および承認後に変更されたプライベート オファーに関連付けられている場合、用語には N/A と表示されます。このシナリオでは、Google Cloud Marketplace からの API レスポンスに用語関連の情報は含まれません。

## 契約

- 契約の詳細を展開すると、コンソールに現在のプランで利用可能な契約オプションと単位 (容量またはノード数) が表示されます。
- コンソールは、終了日と、契約がまもなく更新されるか、まもなく終了するか、すでに終了しているかを識別します。
- AWS 契約があり、開始日後に契約オプションを変更した場合は、AWS Marketplace から契約オプションを検証してください。
- Google Cloud プライベート オファーをお持ちの場合は、契約オプションは利用できません。

## サブスクリプションの名前を変更する

組織でサブスクリプションをどのように使用しているかをより適切に識別できるように、サブスクリプションの名前を変更できます。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。
3. 管理するサブスクリプションに対応する行のアクション メニューを選択し、[名前の変更] を選択します。

## プロバイダー資格情報を使用してサブスクリプションを構成する

通常、サブスクリプションは、サブスクリプション時に作成したプロバイダー資格情報を使用して構成されます。場合によっては、課金方法を変更するために、別の資格情報を使用するようにサブスクリプションを再構成する必要があります。サブスクリプションに関連付ける資格情報は、エージェントにも関連付ける必要があります。

資格情報の形式は、使用しているマーケットプレイスによって異なります。たとえば、Azure マーケットプレイス サブスクリプションは Azure サブスクリプション名に関連付けられていますが、AWS マーケットプレイス サブスクリプションでは AWS アカウント ID が使用されます。利用可能な資格情報のリストは、「資格情報」ページから確認できます。

サブスクリプションを解除した場合、[構成] オプションはグレー表示されます。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。

2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。
3. 設定するサブスクリプションに対応する行のアクション メニューを選択し、[設定] を選択します。
4. [構成] ダイアログで、サブスクリプションで構成する資格情報を選択します。現在選択されているエージェントに関連付けられている資格情報からのみ選択できます。使用したい資格情報が表示されない場合は、別のエージェント ビューに切り替えてみてください。

## サブスクリプションをコンソール組織に関連付ける

サブスクリプションを組織に関連付けると、その組織のメンバーがそのサブスクリプションを課金に使用できるようになります。

サブスクリプションの使用を特定の組織に制限したり、複数の組織間でサブスクリプションを共有したりできます。

サブスクリプションを組織に関連付けるには、組織管理者のロールが必要です。



コンソールは、組織を使用してユーザーとリソースを管理する、標準モードの Identity and Access Management (IAM) をサポートしています。コンソールをプライベート モードまたは制限モードで使用している場合は、コンソール アカウント を使用して、サブスクリプションなどのユーザーとリソースを管理します。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。
3. 関連付けるサブスクリプションの行で、アクション メニューを開き、[関連付け] を選択します。
4. \*サブスクリプションの関連付け\*ダイアログで、サブスクリプションに関連付ける 1 つ以上の組織を選択します。
5. \*関連付け\*を選択します。

## サブスクリプションに関連付けられた資格情報を表示する

**Marketplace** サブスクリプション ページから特定のサブスクリプションの資格情報を表示できます。これにより、サブスクリプションの課金方法を確認できます。資格情報は使用しているエージェントに関連付けられているため、表示するサブスクリプションに関連付けられているエージェントを選択する必要があります。



必要に応じて、上部のナビゲーション バーにあるエージェント ドロップダウンを使用してエージェントを切り替えます。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。
3. 資格情報を表示するサブスクリプションが含まれている行で、[表示] を選択します。サブスクリプションに複数の資格情報が関連付けられている場合は、資格情報が表示されず、別のエージェントを選択するように指示される場合があります。

## サブスクリプションの設定を解除する

サブスクリプションを削除する前に、サブスクリプションを構成解除する必要があります。これにより、関連するすべてのデータと設定がクリアされます。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューで、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。
3. 構成を解除するサブスクリプションの行で、アクション メニューをクリックし、[構成解除] を選択します。
4. 指示に従って、関連する設定やデータを削除またはリセットします。
5. ステータスが「未構成」に更新されるまで待ちます。

## サブスクリプションを削除する

クラウド プロバイダー (AWS、Google Cloud、または Azure) のサブスクリプションを解除すると、コンソールにサブスクリプションのステータスが **Unsubscribed** と表示されます。

\*登録解除済み\*のサブスクリプションをコンソールから削除して、表示されなくすることができます。



削除できるのは、「登録解除済み」かつ「未構成」のサブスクリプションのみです。削除する前に、関連するすべての設定、データ、および構成をクリアまたはリセットする必要があります。

サブスクリプションがまだ構成されている場合、[削除] オプションは表示されません。オプションを使用できるようにするには、関連付けられている設定、サービス、またはデータをすべてクリアしてサブスクリプションを構成解除します。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューで、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*マーケットプレイス サブスクリプション\*を選択します。
3. 削除するサブスクリプションの行で、アクション メニューを開き、[削除] を選択します。

削除できるのは、ステータスが **Unsubscribed** および **Unconfigured** のサブスクリプションのみです。

4. \*サブスクリプションの削除\*ダイアログで、サブスクリプションを削除することを確認します。

## Keystoneサブスクリプションを管理する

Cloud Volumes ONTAPで使用するサブスクリプションを有効にし、サブスクリプションのサービス レベルのコミット済み容量の変更を要求することで、NetApp ConsoleでKeystoneサブスクリプションを管理します。サービス レベルの追加容量を要求すると、Cloud Volumes ONTAPシステムにさらに多くのストレージが提供されます。

NetApp Keystone は、CapEx やリースよりも OpEx を好む顧客にハイブリッド クラウド エクスペリエンスを提供する、成長に合わせて拡張できる柔軟なサブスクリプションベースのサービスです。

["Keystoneについて詳しくはこちら"](#)

## アカウントを承認する

コンソールでKeystoneサブスクリプションを使用および管理する前に、NetAppに連絡して、コンソール アカウントにKeystoneサブスクリプションを承認してもらう必要があります。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \* Keystoneサブスクリプション\* を選択します。
3. **Welcome to NetApp Keystone** ページが表示された場合は、ページに記載されているアドレスに電子メールを送信します。

NetApp の担当者が、お客様のアカウントにサブスクリプションへのアクセスを許可して、お客様のリクエストを処理します。

4. サブスクリプションを表示するには、\* Keystoneサブスクリプション\* タブに戻ってください。

## サブスクリプションをリンクする

NetApp がアカウントを承認すると、KeystoneサブスクリプションをCloud Volumes ONTAPで使用するためにリンクできるようになります。このアクションにより、ユーザーは新しいCloud Volumes ONTAPシステムの課金方法としてサブスクリプションを選択できるようになります。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \* Keystoneサブスクリプション\* を選択します。
3. リンクしたいサブスクリプションについては、... \*リンク\*を選択します。

### 結果

サブスクリプションはコンソール組織またはアカウントにリンクされ、Cloud Volumes ONTAP作業環境を作成するときに選択できるようになります。

## コミットされた容量の増減を要求する

サブスクリプションのサービス レベルのコミット済み容量を変更する場合は、コンソールから直接NetAppにリクエストを送信できます。サービス レベルの追加容量を要求すると、Cloud Volumes ONTAPシステムにさらに多くのストレージが提供されます。

### 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \* Keystoneサブスクリプション\* を選択します。
3. 容量を調整するサブスクリプションについては、... [詳細を表示して編集]を選択します。
4. 1 つ以上のサブスクリプションに対して要求されたコミット容量を入力します。
5. 下にスクロールして、リクエストの追加詳細を入力し、[送信] をクリックします。

## 結果

リクエストにより、NetApp のシステムに処理用のチケットが作成されます。

## 使用状況を監視する

Digital Advisorダッシュボードを使用すると、Keystoneサブスクリプションの使用状況を監視し、レポートを生成できます。

"サブスクリプションの使用状況の監視について詳しくは、こちらをご覧ください。"

## サブスクリプションのリンクを解除する

コンソールでKeystoneサブスクリプションを使用しなくなった場合は、サブスクリプションのリンクを解除できます。既存のCloud Volumes ONTAPサブスクリプションに接続されていないサブスクリプションのみをリンク解除できることに注意してください。

## 手順

1. NetApp Consoleメニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*Keystone\*を選択します。
3. リンクを解除したいサブスクリプションについては、... \*リンク解除\*を選択します。

## 結果

サブスクリプションはコンソール組織またはアカウントからリンク解除され、Cloud Volumes ONTAP作業環境を作成するときに選択できなくなります。

## 請求設定

### ライセンスとサブスクリプションの課金設定について

課金設定により、アクティブなライセンスとサブスクリプションの支払いと更新の動作をどのように処理するかを決定できます。これらの設定は、すべての課金関係に影響を与えるようにグローバルに適用することも、特定の契約に独自の構成が必要な場合は個別のサブスクリプション レベルで適用することもできます。

- マーケットプレイス サブスクリプション は、使用料がハイパースケーラー アカウントを通じて請求されるクラウド マーケットプレイス契約 (AWS、Azure、または Google Cloud) に対応します。
- 直接ライセンス は、NetAppから直接購入され、ライセンス キー、請求書の受取人、および更新オプションを通じてNetApp Consoleで管理されるライセンスを表します。

調達モデルに応じて、組織がサービスを割り当て、支払う方法を設定できます。

## 権限

NetApp Console内のライセンスとサブスクリプションの管理は、ユーザー ロールを通じて制御されます。これらのロールは明確なアクセス レベルを提供し、この機能に対してユーザーが実行できる特定のアクションを有効化または制限します。

ロール	説明
管理者	<p>このロールを持つユーザーは、ライセンスとサブスクリプションを完全に制御できます。管理者ユーザーは次のことができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべてのライセンスとサブスクリプションを表示します。</li> <li>• 新しいライセンスを追加します。</li> <li>• サブスクリプションをアカウントに関連付けます。</li> <li>• 既存のライセンスの詳細を変更します。</li> <li>• ライセンスを削除するか、サブスクリプションの関連付けを解除します。</li> </ul>
視聴者	<p>このロールを持つユーザーには読み取り専用アクセス権があります。閲覧ユーザーは次のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべてのライセンスとサブスクリプションを表示します。</li> </ul>

## 請求設定

課金設定により、使用料と更新が正しく適用されるようになります。これらを適切に構成すると、請求に関する紛争が減り、NetAppが所有する容量とマーケットプレイスで購入した容量を組み合わせたハイブリッドライセンスモデルの管理が容易になります。

たとえば、グローバルな課金設定により、請求書の連絡先リストを統合して、すべてのサービスで1人の課金管理者を共有できます。また、コストセンタータグを使用して、部門や地域間での使用状況を調整したり、自動更新を有効にしてサービスの中断を防いだりすることもできます。新しいCloud Volumes ONTAP (CVO) のデプロイメントでは、ここで定義した課金モードが自動的に継承されるため、新しいシステムが追加されても組織のチャージバックモデルの一貫性が保たれます。

課金設定は、NetApp Consoleの **Licenses and subscriptions** セクションで構成されます。

そこから、次のことができます。

- 組織の請求設定を行う
- 高度なマッピングのためのカスタム CVO 構成を有効にする
- マーケットプレイスのサブスクリプションの詳細を編集または更新する

## フィールド

課金フィールドには、各ライセンスまたはサブスクリプションの課金方法に関するメタデータが保存されます。請求先、更新方法、各サービスが属するアカウントまたはコストセンターについて説明します。

### マーケットプレイスフィールド

マーケットプレイスフィールドは、AWS、Azure、Google Cloud などのクラウドプロバイダーから発信された契約を記述します。これらのフィールドは、NetApp Consoleがサブスクリプションをプロバイダーのマーケットプレイスに保存されている請求情報と接続する方法を定義します。また、更新、地域の割り当て、請求アカウントの管理方法も制御します。

- マーケットプレイス プロバイダー — 課金が処理されるクラウド プラットフォームを識別します。サポートされる機能、契約タイプ、更新ルールはプロバイダーによって決定されます。たとえば、AWS Marketplace サブスクリプションではアカウントベースの課金が使用されますが、Azure ではアカウントベースとテナントベースの両方のモデルがサポートされる場合があります。
- 請求アカウントまたはサブスクリプション ID - 料金の処理に使用されるアカウントの一意の識別子を指定します。これにより、使用状況データが正しいクラウド課金プロファイルに課金されるようになります。
- 契約期間 — サブスクリプションの期間と更新設定を定義します。

#### 直接ライセンスフィールド

直接ライセンス フィールドは、クラウド マーケットプレイス経由ではなく直接購入されたNetApp管理契約に適用されます。これらは、NetApp がお客様に請求する方法、料金の送付先、請求書に記載される法人を定義します。これらのフィールドは、注文書や集中化された企業請求を使用する組織にとって重要です。

#### Keystoneフィールド

Keystoneフィールドは、NetApp Keystoneサブスクリプション契約に該当する使用に適用されます。これらにより、従量制サービスの使用状況をKeystone の課金プロファイルに接続し、サブスクリプション データを他の容量ベースのライセンス モデルと一致させることができます。

- 契約 ID — Keystone契約の一意の識別子。NetApp Consoleの請求レコードをKeystone契約にリンクし、使用状況レポートの同期を可能にします。
- サービス範囲 — Keystone契約の対象となるサービスまたは容量プールを一覧表示します。このフィールドは、契約に含まれるワークロードまたはデプロイメントを明確にし、適格なリソースのみがKeystoneを通じて課金されることを保証します。

#### 請求オプションと定義

課金オプションは、複数の課金ソースが接続されている場合に、NetApp Consoleが優先順位をつけて使用料金を適用する方法を定義します。最初にどのアカウントに課金するか、容量制限に達したときにNetAppライセンスとマーケットプレイス サブスクリプション間で課金を切り替える方法を制御します。

#### 条件とオプション

組織の調達戦略に応じて、請求モードを選択できます。

- \* NetAppライセンスを優先\* — アクティブなNetAppライセンスを通じて課金を優先します。これらのライセンスの容量が使い果たされると、使用量はリンクされたマーケットプレイスのサブスクリプションに自動的に引き継がれます。
- マーケットプレイス サブスクリプションのみ — NetAppライセンスをバイパスし、すべての請求をマーケットプレイス契約を通じて行います。これは、クラウド プロバイダーの請求を通じて調達を標準化する組織では一般的です。
- **PAYGO (Pay-As-You-Go)** — 実際の使用量に対してのみ請求されます。
- 年間契約 — 定義されたサブスクリプション期間を固定します。
- 自動更新 — ライセンスまたはマーケットプレイス契約の有効期限が切れたときに自動的に継続できるようにします。このオプションを無効にすると、サービスの中断を防ぐために手動で更新する必要があります。
- カスタム **CVO** 構成 — 複数のマーケットプレイス サブスクリプションを単一のハイパースケーラーにマッピングできます。これは、同じクラウド環境内で異なるビジネス ユニットまたはプロジェクトに個別の

課金アカウントが必要な場合に役立ちます。

#### 一般的な構成パス

次の例は、さまざまな課金設定が一般的なケースとどのように一致するかを示しています。

シナリオ	推奨される請求オプション
組織がNetAppの容量を直接購入した	* NetAppライセンスを優先*
すべての使用料はマーケットプレイス契約を通じて請求されます	マーケットプレイスサブスクリプションのみ
1つのクラウドプロバイダーで複数のプロジェクトに請求する	カスタムCVO構成を有効にする
シンプルな単一ソースの課金設定に戻したい	カスタムCVO構成を無効にする

たとえば、直接のNetAppライセンスとマーケットプレイスのサブスクリプションの両方を組み合わせた組織を考えてみましょう。一般的な構成では、マーケットプレイスの課金前にプリペイド容量を使用するために、デフォルトの課金モードとして \* NetAppライセンスを優先\* に設定します。次に、カスタム CVO 構成で、各ハイパースケーラー (AWS、Azure、Google Cloud) に対応するサブスクリプション ID が割り当てられます。

これらの設定を保存した後、管理者は **Licenses and subscriptions** の下のマッピングを確認し、各サービスが正しいアカウントを指していることを確認できます。さらに検証するには、NetApp Consoleの使用状況データをクラウド課金ダッシュボードと比較し、必要に応じてコストセンターのタグや連絡先を調整して、レポートの一貫性を維持できます。

## 請求設定を管理する

NetApp Consoleで課金設定を構成して管理し、組織のアカウントに容量使用量、更新、請求書を適用する方法を制御できます。課金設定により、使用料がNetAppライセンス、クラウドマーケットプレイス契約、またはKeystone契約のいずれから発生するかが決まります。

### 開始する前に

- 管理者 ロールにアクセスできます。
- 関連するすべてのマーケットプレイス サブスクリプションが組織にリンクされます。
- \*ライセンスとサブスクリプション\*の既存の構成を確認しました。

### 請求設定を行う

コンソールが課金ソース全体に使用料金を適用する方法を選択できます。これにより、どのアカウントに最初に請求されるか、および更新がどのように処理されるかが決まります。

### 手順

1. NetApp Consoleで、\*管理 > Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*請求設定\*を選択します。
3. 次のいずれかの課金モードを選択します。
  - \*最初にNetAppライセンスを使用\* – 最初にNetAppライセンスを使用し、その後、追加の使用にはマ

マーケットプレイス サブスクリプションを使用します。

- マーケットプレイス サブスクリプションのみ – すべての使用量をマーケットプレイス サブスクリプションを通じて直接請求します。

4. **Marketplace** サブスクリプション で、各ハイパースケラー (AWS、Azure、Google Cloud) のサブスクリプションを選択します。
5. 単一のハイパースケラーで複数のサブスクリプションを使用する場合は、カスタム **CVO** 構成 を有効にします。
6. (オプション) \*請求書連絡先\*と\*通知連絡先\*を更新します。
7. (オプション) 請求を内部会計コードに関連付けるには、コスト センター タグ を入力します。
8. \*変更を保存\*を選択します。
9. プロンプトが表示されたら、確認ダイアログを確認し、「確認」を選択します。

## 結果

NetApp Consoleは課金マッピングを更新します。今後のサービス料金と更新では、選択した構成が使用されます。



課金モードを変更すると、サービス料金の適用方法が再分配されます。新しいCloud Volumes ONTAP (CVO) インスタンスは、選択した構成を自動的に継承します。

## カスタムCVO構成を有効にする

カスタム CVO 構成を使用すると、同じハイパースケラーで複数のマーケットプレイス サブスクリプションを割り当てることができます。組織が個別のビジネス ユニットまたは環境ごとに異なる請求アカウントを管理している場合は、このモードを使用します。

## 手順

1. NetApp Consoleで、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*請求設定\*を選択します。
3. **Marketplace** サブスクリプション で、カスタム **CVO** 構成 を有効にします。
4. 変更を保存を選択します。

## 結果

同じハイパースケラーの下にある個々のCloud Volumes ONTAPインスタンスに特定のマーケットプレイス サブスクリプションを割り当てることができるようになりました。



これを有効にすると、課金設定 からカスタム CVO 構成を元に戻すことはできません。これを無効にすると、すべての CVO 課金がデータ サービスの標準課金構成にリセットされます。

## マーケットプレイスの設定を編集する

マーケットプレイスの構成詳細を編集して、サブスクリプションをクラウド プロジェクトに関連付けたり、契約情報を更新したりできます。

## 手順

1. \*Licenses and subscriptions\*を開きます。

2. \*請求設定\*を選択します。
3. 次のビューを選択します。
  - マーケットプレースのサブスクリプション名
  - クラウドプロジェクト
  - サブスクリプションタイプ (年間またはPAYGO)
4. \*変更を保存\*を選択します。

## 結果

新しい構成はすぐに有効になり、課金データがクラウド プロバイダーと同期されます。



1つのサブスクリプションを複数のクラウド プロジェクトにマップするには、まず **カスタム CVO** 構成 が有効になっていることを確認します。

## 請求の変更を確認または元に戻す

請求設定を更新するたびに、誤って変更されないように確認が必要になります。

### 変更を確認する

1. 請求設定を編集した後、「変更を保存」を選択します。
2. 確認ダイアログで概要を確認します。
3. 更新を適用するには「保存」を選択し、更新を破棄するには「キャンセル」を選択します。

### 標準請求に戻す

1. \*課金設定\*を開きます。
2. カスタム **CVO** 構成 を無効にします。
3. プロンプトが表示されたら、標準構成に戻すことを確認します。

## 結果

CVO インスタンスは、他のデータ サービスに使用されるデフォルトの標準課金方法に戻ります。

# 知識とサポート

## サポートに登録する

NetApp Consoleとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)

- "Azure NetApp Files"
- "Google Cloud NetApp Volumes"

## サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetApp Console アカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられた Cloud Volumes ONTAP シリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時に NetApp Console によって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従って NetApp サポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

## NetApp サポートのために NetApp Console を登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetApp Console アカウントの 1 人のユーザーが NetApp サポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetApp サポートに登録する方法は、NetApp サポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

### NSS アカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちの NetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

### 手順

1. 管理 > \*資格情報\* を選択します。
2. \*ユーザー 資格情報\* を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetApp サポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインに NetApp サポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

### 既存の顧客だが NSS アカウントがない

既存の NetApp 顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

## 手順

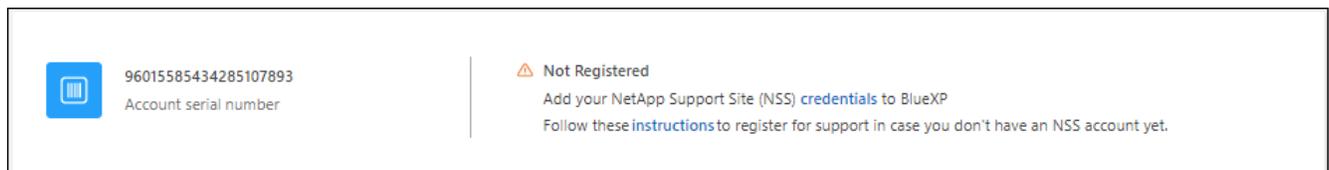
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
  - a. 適切なユーザー レベル (通常は \* NetApp顧客/エンド ユーザー\*) を選択してください。
  - b. 上記で使用したコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

## NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

## 手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みのNetApp顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
  - a. 適切なユーザー レベル (通常は \* NetApp顧客/エンド ユーザー\*) を選択してください。
  - b. 上記で使用したアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

## 終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

## Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL（個人ライセンス使用）時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

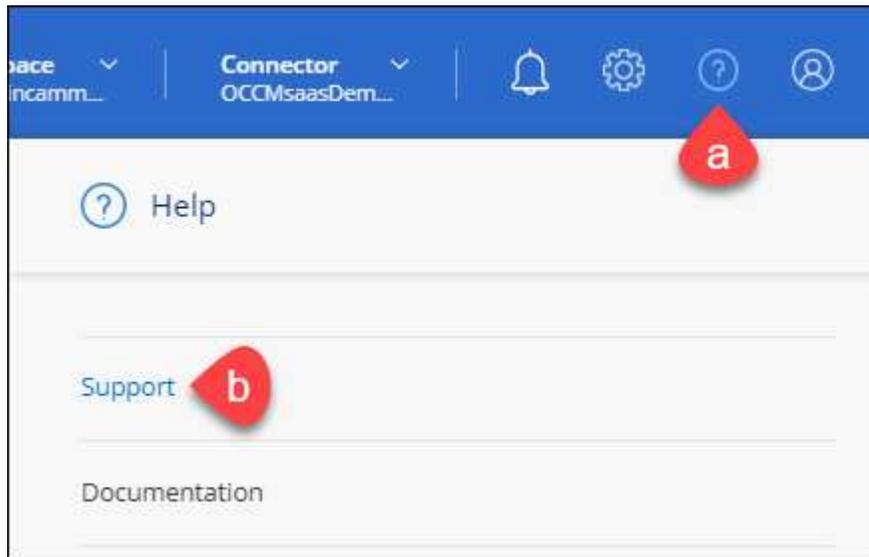
NSS 資格情報をNetApp Consoleアカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS 管理** からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

### 手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. \*NSS管理 > NSSアカウントの追加\*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときに、パートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。\*NSS管理\*ページでは、...メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、...メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

## ヘルプを受ける

NetApp は、NetApp Consoleとそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジ ベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、豊富な無料のセルフ サポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

### クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントを参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

NetAppとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- **ドキュメント**

現在表示しているNetApp Consoleのドキュメント。

- **"ナレッジベース"**

NetAppナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- **"コミュニティ"**

NetApp Consoleコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

## NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- \*ケースの作成\*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をコンソール ログインに関連付ける必要があります。 ["コンソールログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. NetApp Consoleで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
  2. \*リソース\*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
    - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
    - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
      - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、\* NetApp Console\* は、コンソール内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合です。
      - システム: ストレージに該当する場合は、\* Cloud Volumes ONTAP\* または **On-Prem** を選択し、関連する作業環境を選択します。

システムのリストは、コンソール組織と、上部のバナーで選択したコンソール エージェントの範囲内にあります。
- ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。
  - 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細

な説明を入力します。

- 追加のメールアドレス:この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に1つずつ、最大5つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに25MBまでに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csvです。

The screenshot shows a web form for creating a support case. At the top, it says 'ntapitdemo' with an edit icon and 'NetApp Support Site Account'. Below this are two dropdown menus: 'Service' (with 'Select' as the current value) and 'Working Environment' (also with 'Select'). Underneath is a 'Case Priority' dropdown menu set to 'Low - General guidance', with an information icon to its right. The 'Issue Description' section has a large text area with the placeholder text: 'Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.' Below that is an 'Additional Email Addresses (Optional)' text input field with 'Type here' as a placeholder and an information icon. The 'Attachment (Optional)' section features a file selection area showing 'No files selected', an 'Upload' button with an upward arrow icon, and a trash icon with a hand cursor over it, along with an information icon.

#### 終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする時、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウントとそれに関連付けられているレコード会社が、NetApp Console アカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

## サポートケースを管理する

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
  - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
  - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

## 手順

1. NetApp Console で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. \*ケース管理\* を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、コンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
  - \*組織のケース\* の下で \*表示\* を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
  - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。
  - 列の内容をフィルタリングします。
  - 表に表示される列を変更するには、 次に、表示する列を選択します。
4. 既存のケースを管理するには、**...** 利用可能なオプションのいずれかを選択します。
  - ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
  - ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、\*ファイルのアップロード\* を選択して最大 5 つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。

## 法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

### 著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

### 商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

### 特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

### プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

### オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["BlueXPに関するお知らせ"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。